

「川畑小学校のお城ヶ山踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	南さつま市立川畑小学校
2. 学年・人数	4～6年生 36人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年10月1日（火）、12日（土）、15日（火）川畑小学校校庭 (2) 発表の日時・場所 令和6年10月20日（日）川畑小・川畑校区合同秋季大運動会 川畑小学校校庭
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能、伝統 行事、伝統工芸 品について	(1) 名 称 お城ヶ山踊り（おせろがやまおどり） (2) 由 来 薩摩藩が農民たちに棒術やなぎなた、鎌などの手並みを踊りに仕組んで踊らせ、戦時に備えたという説、棒や鎌・なぎなたを斜めに打ち合わせることが悪霊を退散させるという考えから踊りが生まれたという説、棒やなぎなたで大地を力強く突く動作が、その年の豊作を祈願する農耕儀礼の一つとして考えられていたことから生まれた説などがある。 (3) 構成等 「鎌」と「なた」の2種類があり、それぞれ担当を決めて踊る。1部では、唄に合わせて全員で地突きを繰り返す。2部では、唄に合わせてながら鎌となたを打ち合いながら激しく踊り、同じ流れの動きを3回繰り返す。
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	学校と保存会が連携協力しながらお城ヶ山踊りを継承していくために、担当を中心に毎年早い段階から打合せを行っている。学校教育活動の中では、踊りの伝承活動を総合的な学習の時間に位置付け、録画しておいた映像を参考にしながら練習に取り組んでいる。また、毎年2～3回、保存会の方々に来校していただき、踊りや衣装合せの指導をしていただいている。
6. 取組の様子 （練習状況、発 表の場等）	  【保存会の方々による御指導】 【運動会で披露】
7. 感想・意見 （参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等）	【児童】 ・ 動きは難しかったけれど、上級生がやさしく教えてくれたので、うまく踊れるようになった。 ・ 保存会の方々に、「上手になったね。」と褒めてもらえたので、とてもうれしかった。 ・ 次は自分が下級生に教えられるように、動きをしっかりと覚えたい。